

議 事 録

	平成28年度第3回青少年健全育成推進会議
日 時	平成28年10月5日(水)午後2時00分～午後4時00分
場 所	中央公民館 視聴覚室
出席者	推進員(5名) 小林委員、近藤(美)委員、青山委員、木下委員、石田委員 【欠席】得能委員 事務局(3名) 高木課長、青木補佐、野村
議 題	あいさつ(小林代表、高木課長) 報告 1 家庭教育推進市民大会の結果について 2 前回(第2回)地区連絡会のまとめ 議事 1 第3回地区連絡会の進め方について 2 その他
決定事項	<p><b>家庭教育推進市民大会の結果について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式な参加者数は205人(昨年度より66名減)</li> <li>・プログラム内容について報告</li> </ul> <p><b>前回(第2回)地区連絡会のまとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出いただいた学区意見交換の議事録について内容等間違いがないか確認。</li> <li>・沓掛中学区で資料が不足。地区連時に修正したものを添付。</li> </ul> <p><b>第3回地区連絡会議の進め方について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第のとおりで承認された。</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <p>①実績報告書について</p> <p>様式イとエの必要性について協議。イは現在は、地区では上手く活用されていないが、新委員長への引継ぎとしては残した方がよい情報なので、様式はそのまま残し、第1回の案内通知にアとイを同封して情報提供できるようにする。</p> <p>エについては、ほとんど変更しないので、毎年ではなく3年毎に変更してはどうか提案したが、大した負担ではなく、忘れる可能性もあるため、今までとおり毎年提出いただく。</p>

②親子川柳の選定方法について

毎年、応募総数1,500件ほど応募がある中で、選定にかかる推進員の負担が大きいとの意見があることから、プロトタイプモデルによる取り組みとして事務局から提案

■従来の方法

1,500件をすべてデータ化(2週間ほど)し、一覧にする。一覧を推進員に送付(見る期間が1週間ほど)し、第4回の推進会議時に各自候補作品(数に決まりはなかった)を上げていただく。

候補作品を推進員の多数決で入選作品を決定する。

■試験の方法

・書類審査 市職員で、応募の不備や要項にあてはまるかなどを確認し、書類選考する。

・送付 不備のある作品を除き、応募作品を3つの学区に分ける。(1人500件程度になる)作品はデータ化せず、写しを推進員に送付する。

(入力期間がなくなり、作業量が減。早く送付でき選考に時間をかけられる。

文字が大きく見やすくなる)

・審査 候補作品を20作品に絞る。20作品をデータ化し、会議時に一覧にしたものを用意  
候補 $20 \times 6 = 120$ 作品から、入選作品を決定する。

③尾張地区子育て支援地域交流会について

今年は、中島丹葉地区が当番のため、愛日地区は動員なし。イベント情報提供のみ。

④さわやかDAY(1月26日)について

情報提供と第3回の地区連でのチラシ配布を了承される。

⑤モデル地区の選考について

第2回地区連で選考方法について指摘があったため、基準を示す。

競合した場合、提案書を比較の上、甲乙つけがたい場合は、過去の実施回数が少ない地区を優先する。

⑥家庭の日のPRについて

第3日曜日が家庭の日であることのPRをもっと行う。市民大会のチラシ裏面などにイラストを印刷し、PRをする。ホームページには掲載している。

各地区でPRできるよう、第3回地区連で資料配布する。